

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年1月16日公開
国連パリ和平会議、大失敗！

.....
フィリピンのマニラよりおはようございます。インターネット接続があまりよくありませんが、できる限り、何度でもやっています。上手くやるためには、私たちは神の助けが必要なので、祈らなくてはなりません。

天のお父様、

あなたの良さ、あなたの優しさ、事実、あなたはあなたの子どもたちを暗やみに置き去りにせず、イザヤ書 46:9~10 (9 遠い大昔の事を思い出せ。わたしが神である。ほかにはいない。わたしのよな神はいない。 10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事を全て成し遂げる』という。) で宣言された通り、あなたは初めから終わりについて、語られました。ですから、お父様、どうかこのライブ放送をお守りください。あなたの御心通り、インターネット接続が途切れることのないように。ここでは、インターネット接続は致命的な問題です。どうか、助けてください。

イエスの御名によってお祈りします
アーメン。

アーメン！ここで、実にたくさんの報告ができることに、とてもとてもワクワクしています。まず、パリ会議の大失敗や、世界中の何百万人もの祈りが、どのように聞かれたかをお話しする前に、一つ、私たちの重点が正しかったと感じる出来事を、皆さんにシェアしたいと思います。あまりに多くの事が起こり過ぎると、時に私たちは大切なことを見失いがちですから。ということで、私が泣きそうになった出来事をご紹介します。

先週末、29歳イスラム教徒のシリア人女性、彼女の名前を明かすことはできませんが、イスラエルとの国境近くのシリアの町に住んでいたその女性には、娘さんと素晴らしいご主人がいます。彼女は妊婦でしたが、通常の出産はできず、帝王切開が必要でした。ところが、シリアで起こっている全ての事の影響で、どこの病院もそれに対応することができませんでした。そこで彼女が決行したのは、危険を覚悟でイスラエル国境までやってきたのです。国境まで生きてたどり着くことが出来れば、イスラエルが正しく対処してくれることを知っていたからです。果たしてその通り、我々は彼女を保護し、この週末に無事にかわいい元気な女の子を出産しました。彼女が国境まで行って、イスラエルの病院で出産したいと夫に言ったとき、彼は「もし女の子が元気に生まれてきたら、その子にユダヤ人の名をつけてほしい。そして、ユダヤ人のみなさんに感謝を表そう。」と言いました。そして、女性は赤ちゃんに「サラ」という名を付けました。

全世界がイスラエルに敵対して集まっている時に。しかも、問題は「家」です。私はこの国の一員であることを誇りに思っています。この国の財産は「殺す事」ではなく「建てる事」、そして、敵を殺すことではなく、敵を助け、彼らの赤ちゃんを生み出すこと。

朝一番にこの話を読むことが出来て、とても恵まれました。何百人というシリア人が「イスラエルに行きさえすれば、助けてもらえる」と知って、国境にやってきます。彼らを取り巻く全ての中で、唯一、救いの手を差し伸べるのが、イスラエルだけだからです。そして、イスラエルはこういう時、シリア人を助けるために何百万シェケルというお金を集めています。ですから、こういった話を聞くと、私たちが大切にしていることは間違っていないと思えるのです。また、私はこの女性が、赤ちゃんにサラと名付けてくれたことを感謝したいと思います。彼女の村の人たちが、どういう反応をするだろうかと気になりますが、私たちは、小さなサラのために祈ります。サラがイスラエルを愛して成長し、イスラエルの王・メシアを知るように、と祈ります。

次に皆さんにお伝えしたいのは、数日前に私は皆さんに、パリで予定されていたことに対して、緊急に祈ってくださいとお願いしました。世界中にお伝えしたところ、約 5,000 人が Facebook でシェアしてくださり、25 万人が私の祈りの要請を聞いてくださり、何千人もの人が他の人に祈りの要請をし、何百万もの人が祈ったに違いありません。私は、ただほんの隙間を埋めたにすぎませんが、皆さんのお祈りに感謝します。皆さんにいくつかご説明したいと思います。

16 義人の祈りは働くと、大きな力があります。

(ヤコブ 5:16)

とヤコブの手紙には書いてあります。そして、理解しておくべき事は、今私が、世界中の人々に携挙について伝えている中で、いつも言うのは、現在世界中で戦いが起こっていること、それも、目には見えない戦いであり、天での戦いです。エペソの手紙にあるように

12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

(エペソ 6:12)

黙示録 12 章に書かれているように、現在、天で起こっている戦いは、いずれ地上に現れます。もう間もなくです。黙示録 12 章では戦いが起こっている様子が伝えられており、また、サタンが地上に投げ落とされ、おもにイスラエルを追いかけることが書かれています。これはもちろん、反キリストが患難時代に、ユダヤ人を追いかけることを示しているのですが、それでも理解すべきは、戦いはまず、天で起こることです。そしてこれは、とてもとても、とてもとても深刻な戦いであるということです。

この戦いについて神は、私たちに言っています。私たちがこれに立ち向かうには、唯一の武器と盾が必要であると。つまり、私たちが戦っているのは、霊的な戦いで、その視点で見ると、私たちに最も効果的な形で対応することができる、つまり霊的な対応です。私が信じているのは ——また、常に言っていることですが、熱心で効果的な祈りの力です。祈りはとても良いことです。それでも、私たちは祈るときには熱心に祈らなければなりません。ただ言葉を並べるだけではなく、神が聞いておられることを信じて、本心から言うのです。そして、効果的に祈らなければなりません。私たちが口や心を通して、射止めようとしている標的に集中して、まっすぐターゲットである敵に向けるのです。義人の祈りは効果的で、熱心な祈りです。義人とは誰の事ですか？義人とは、私たちがその義でまもってくださる方を信じている者です。

21 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあつて、神の義となるためです。

(第二コリント 5:21)

ですから、

16 義人の祈りは働くと、大きな力があります。

(ヤコブ 5:16)

そして、今回起こったのは、主が神の人々の効果的で熱心な祈りを聞かれたのだと、私は思っています。だから、敵の計画が頓挫したのです。そう言うと、皆さんはこんな風におもうでしょうか。

「Amir、一体何の話をしているんだ？」

「敵の計画が祈りだけで頓挫するとは、どういうことだ？」

聖書は、第二テサロニケ 2 章でこう言っています。

7 不法の秘密はすでに働いています。…

(第二テサロニケ 2:7)

つまり、私たちにはまだ、反キリストが動いているのが見えていないかもしれない。恐らく、戦いはまだ天で行われていて、彼はまだ投げ落とされていないのかもしれない。しかし聖書は、私たちがまだここにいる間も「不法の秘密はすでに働いている」というのです。そして聖書は、

8 その時になると、不法の人が現れますが、主は御口の息をもって彼を殺し、来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。(第二テサロニケ 2:8)

これらは後の事で、その前に主が言われているのは、

7 不法の秘密はすでに働いています。しかし今は引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。

(第二テサロニケ 2:7)

つまり、私たちの中に宿る聖霊が、私たちの祈りを通して明確になる方が、現在、敵の働きを引き止めているのです。ですから、今、私たちが目にしているのは、我々が祈ると、エルサレムを分断しようとする敵の計画が中断されるのです。それは祈りが聞かれたので、起こったことなのです。私たちはまさに、効果的で熱心な祈りの力によって、敵の計画を頓挫させたのです。そして、私たちがこれを理解しておくことは、とても大切です。なぜなら、私たちがいなくなれば、エルサレムは侵略され、分断され、人々は連行され、他の人はレイプされ、全ての詳細がゼカリヤ書 14 章、それから 12 章に書かれています。だから、私たちは理解しなくてはならないのです。私たちがここに、この世にいる限り、私たちに命じられた義務、とりなして祈ること、また祈りは熱心に効果的に行われるべきであることを理解するならば、それは大きな力となり、天で大きな違いを生むと、私は信じています。だから、昨日のようなことが起こったんだと信じます！おめでとうございます！祈りが聞かれたことで、パリの会議は大失敗に終わりました。

次に、あの会議がどれほど恥ずかしいものだったかについてお話ししたいと思います。72 か国が集まり、ある意味集団いじめの様です。被害者はここ、イスラエルです。しかも、イスラエルはそこにはおらず、——ちなみにパレスチナもいませんでした。しかし、面白いことに彼らがそこに来たときは、国連安保理決議 2334 を喜び勇んで再確認していたのです。ところで、彼らは会議の終わりには目新しいことは何一つ言いませんでした。しかし、皆さんが知らない舞台裏では、議会の中に多くの分裂と不一致が起こっていたのです。事実、イギリスはただのオブザーバーとしての参加でしたが、積極的に話し合いに参加したではありませんでした。バルカン諸国は、そこで起こっていること自体が気に入りませんでした。彼らは大変な親イスラエルで、私は彼らの事を本当に誇りに思います。私はつい先日、クロアチアから帰って来たところですが、とても素晴らしい人々でした。バルカン地域の人たちは、イスラム原理主義派の危険性を理解していて、イスラエルの現在の状況が不可能であることも分かっているのだと思います。バルカン地方の人たちと我々は友好的な関係です。ですから、大英国とバルカン諸国、その他皆が、元々計画していた厳しい口調を、会議の終わりにはトーンダウンしたのです。そして、やがてパリ会議の公式声明は、弱々しいものとなって、顔色を失い、本当に何も言えなくなるでしょう。そこからわかることは、国連安保理決議において、アメリカが拒否権を行使しなかった時点で、最悪の事態が既に起こったということ、そして今は、皆がグルグルと堂々巡りをしているのです。

しかし、もう一つ理解すべきは、私たちが今注視しているのは、1月20日までたった5日しかないということ、皆が分かっている、ということです。つまり、あと数日で新しい人物がホワイトハウス入りし、その人は現在のアメリカの外交政策の一切に、真っ向から反対なのです。だから、イスラエルとパレスチナの道を再確認し、これ以上前進させることには何の意味もありません。この同意を交渉し、保障する中心人物が、これについて同意していないからです。ですから、パリ会議が大失敗に終わって、今日1月17日に召集される安保理会議に持ち込めるだけの、大きくて強力な良いものが生み出せなただけでなく、さらにはヨーロッパ諸国が、——アラブ諸国の話ではなく、他の国の話でもありません——EUは昨夜、パリ会議の決議を受け入れることも出来なかったのです。イギリスとバルカン諸国がEU会議で、パリ決議を受け入れることに反対したからです。これはヨーロッパ自身が自分たちの一員がしようとしていることを拒絶した、ということです。パリ会議の大失敗っぷりは想像を絶します。違う言い方をすれば、私たちの祈りが、私の想像できる域を遥かに超えて成功した、ということです！だから、私たちは覚えておかねばならないのです。全ての事がすでに決定されているのは事実です。聖書預言が成就されつつあるのも事実です。そして、物事が崩壊して行っているのではなく、然るべき場所に落ち着いて行っているのも事実です。しかし、信じる者には、ここにいる限り大きな役目があるのです。そして聖書には、

16 義人の祈りは働くと、大きな力があります。
(ヤコブ5:16)

とあります。つまりこれは与えられたもので、疑う余地はありません。私たちは祈らなければなりません。そして私たちの祈りは、私たちが正しく祈るなら、ものすごい効果があるのです。ですから、私たちは気づかなければなりません。私たち全員が行ったことは驚くべきことで、神はそのことをとても喜んでおられるのです。天では大喜びですよ！もちろん、敵は何度も何度も挑んでくることでしょう。しかし、

4 …あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。(第一ヨハネの手紙4:4)

そして、私たちがこの地上にいる限り、私たちのうちにおられる方も、わたしたちとともにこの地上におられるのです。私たちの方が、もっと強く、もっと力があるのです。だから引き止める力が働いているのです。そういうわけで、第二テサロニケにあるように、「引き止める者が取り去られるまで」は、反キリストは登場できず、やりたいことができず、彼の計画を前進させることができないのです。そして、この世にあって聖霊が宿っている私たちが、いったん取り去られたら…これが聖霊でなければ、反キリストを引き止めている力とは一体何でしょうか？なぜ、聖書はそれが取り去られると告げているのでしょうか？この世か

ら取り去られるものとは、何ですか？教会です！私たちはこの世から取り去られるのです！つまり、私たちの祈りが引き止める力であり、だからこそ、私たちが祈ることはとても重要なのです。これを理解するべきです。

私たちは、ただこの世にいて、ただタイムカードを押すだけで、あとは全てが上手くいくように期待するためにはいるのではないのです。私たちは目的があって、この時期に生まれたのです。それも、私が思うに、我々の世代は、これを観ている全ての人は…今生きている全ての信者には、イエスの時代以来、他のどの世代よりも、はるかに大きな責任が課せられていると思います。なぜなら、イエスがこの世に来られて以来、我々の世代は他のどの世代よりも、はるかに多くの預言が成就されているのを目撃しているのですから。そして、私たち全員に課せられた責任の一つは、祈ることです。と言っても、ただ祈るのではなく、熱心に、効果的に祈るのです。そして、私たちが正しい標的に向かって祈りを放つと、それは間違いなく命中する、と私は信じています。ですから、私は皆さん全員を励ましたいのです。まずは、緊急の祈りリクエストを、皆さんがシェアしてくださったことに感謝します。これまで私が投稿した中で、あれだけの数をシェアされたのは初めてだったと思います。そして、人々がこれだけ真剣に受け止めてくださったことにとても励まされました。ですから、これからもどうか続けてシェアしてください。シェアするのは、クリック一つでできますが、それはまるで、地震のマグニチュードのように、一つ一つのステップが2倍に力を増すように、一つ一つのシェアが私たちの祈りのマグニチュードをどんどん増大させるのです。すべきことはクリック、そうすれば効果的な熱心な祈りの力が世界中に放たれて、それはもう、想像をはるかに超えるのです。皆さん、どうかこれを理解してください。

さて、ここまで事実についてお話ししてきました。

1つめは祈りには力がある、ということ。それから、フランスが自分たちの大陸で恥をかいたこと、自分たちの国で、ですよ。考えてみてください。世界中の国々がヨーロッパの美しい場所に集まってきて、何を話しているのかというと、50万人のシリア人が殺されていることについては話し合われず、世界中で人権が侵害されていることを話し合うでもなく、北朝鮮や中国からの脅威について話し合うでもなく、シリアで起こっているすべてのことについてでもなく、議題は、イスラエルが自国の首都エルサレムに建てている家々のことについてです。そこは歴史的なユダヤ人の故郷、つまりイスラエルの丘です。イスラエルがパレスチナ人を殺しているという話ではなく、イスラエルが家を建てていることについて話しているのです。それも、パレスチナ国家に家を建てているのではなく、我々が購入した土地に建てている家のことを言っているのです。世界中の国々が、そのために集まって来るとは、馬鹿馬鹿しいにも程があります。しかし、ご覧の通り、これは霊的なものなのです。

次に、パリの会議で起こったことから、将来的に起こることについて、話題を移しましょう。

将来起こる、ある二つの出来事について、私たちには詳細が知らされています。それはイスラエルの分断とエルサレムへの侵略についてです。これらは二つの異なる出来事なので、注意してよく聞いてください。私はいつもヨエル書 3 章を引用していますが、そこにはこう書かれています。

1 見よ。わたしがユダとエルサレムの捕われ人を返す、その日、その時、

(ヨエル書 3:1 新改訳第 2 版)

つまり、イスラエルが帰還し、イスラエルは強くなり繁栄する、という意味で、それは現在のイスラエルです。

2 わたしはすべての国民を集め、彼らをヨシャパテの谷に連れ下り、

—エルサレムのキドロンの谷です—

その所で、彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地イスラエルにしたことで、彼らをさばく。

(ヨエル書 3:2a)

主が何について国々をさばくのか、実に具体的に書かれています。また、国々が引き寄せられる国とは一体誰なのかもはっきりと書かれています。イスラエルです。そして続きます。

彼らはわたしの民を諸国の民の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分け取ったからだ。(ヨエル書 3:2b)

つまり、神はこれまでの歴史の中でも、イスラエルをその地から散らした事と、その地を分断したことに對して、国々を裁いてきました。国々がユダヤ人を国土から追い散らし、その地を分断したのはいつでしたか？それは、旧約聖書の時代にも起こりました。アッシリアやバビロンその他、それからローマによっても行われました。彼らはユダヤ人をこの地から追放し、そして土地を分断しました。ですからヨエル書は、こんにち人々がしていることについてだけでなく、ずっと昔の人々についても語っています。しかし、覚えていてください。我々は将来的に、多くの国々がイスラエルに侵略しようとするのを、目撃しようとしているのです。そして、もう一つの試みは、焦点がイスラエルからエルサレムに絞られ、ここにエルサレムが絵の中に登場します。そして、それがゼカリヤ書 14 章に書かれています。それによると、

1 見よ。主の日が来る。その日、あなたから分捕った物が、あなたの中で分けられる。

2 わたしは、すべての国々を集めて、エルサレムを攻めさせる。町は取られ、家々

は略奪され、婦女は犯される。町の半分は捕囚となって出ていく。

(ゼカリヤ書 14:1~2)

このようにゼカリヤ書 14 章は、将来について語っています。イエスが再臨される時の事、それは患難期の最後で、その時は反キリストが世界を支配し、クリスチャンはもはやこの世にはいません。患難時の聖徒だけがいて、彼らも荒野に連れ出され、そこで守られます。そして、エルサレム自体が特定の二つの事を経験します。侵略・分断・捕虜に取られます。ですから、ヨエルが言っているのは、イスラエルの過去にあった事と、それからイスラエルに将来起こることです。それは、イスラエルの主権国家が存在する限りは、起こり得ないのです。これから言うことを、よく聞いていてくださいね。おかしなことに聞こえるかも知れません。しかし、国々が——これは全世界の話で、特定の国ではありません。特定の国が来て、攻撃するのは、我々が 1948 年に再誕してからというもの、日常茶飯事です。それから、エゼキエル 38 戦争も起こります、これもまた、特定の 5~6 か国について書かれていて、これについて話しているのでもありません。私が言っているのは、全世界。「全ての国々」と聖書は言います。それらが一緒になって、エルサレムに攻めてきます。そんなことは 1948 年にも、1967 年にも、1973 年にも、1982 年にも、1991 年にも、2004 年にも起こっていません。これまでイスラエルで起きた戦争は、エルサレムを狙ったものではありません。エルサレムは 1967 年に我々が取ったものの一部です。良く考えてみてください。我々は特に戦いもせず、我々がヨルダン人を驚かせたのです。ですから、皆さんが理解しなければならないのは、イスラエルが主権国家で無くなった時には、反キリストがエルサレムで支配するのです。我々ユダヤ人は弱くなり、第三神殿を建てさせたことが最大の間違いだっただ、ただ反キリストがそこに入り、自身を神だと宣言するためだったと気づくのです。ユダヤ人は反キリストに立ち向かいますが、反キリストは彼らを追いかけます。それが、私たちに知らされていることです。つまり、明日エルサレムが分断されるとか、全世界が明日攻め込んでくる、と考えないでください。我々に見えていることは、まさに第二テサロニケが伝えていることそのものなのです。

7 不法の秘密はすでに働いています。…

(第二テサロニケ 2:7)

我々には、反キリストの霊が見えているのです。土地を分断しようとし、都を分断しようとする霊はすでに働いているのです。私たちは、その働き、霊、それらが前進しているのを見えています。しかし、私たちがいなくなるまで、それは起こりません。我々がここを出ていくまで、それは起こらないのです。なぜなら、聖霊が宿っている私たちがそれを引き止めているからです。こう言うと、こんな風に言う人がいるでしょう。

「あ、そう。私がここにいる間は何も起こらないのね。じゃあ、寝てよう。」

そうじゃありません!!

「引き止める者」という言葉は、「引き止める」行動を表します。ですから、私たちは祈らなければなりません。私たちは城壁の見張り番なのです。皆さんにはものすごい役割がある

ということに気づいていますか？皆さんには素晴らしい仕事があるのです。誇りに思うべきですよ！「私は城壁の見張り番だ！」と自分で自分を呼ぶことができるのです。皆さんの内には、引き止める力が宿っているのです。つまり、我々がここにいる限りの仕事は、

- ① みことばを宣べ伝えること。
- ② ひざまずいて祈り、引き止めること

何度でも何度でも、皆さんに言うておきますが、我々がここにいる間はエルサレムが分断されないとしても、我々の仕事はエルサレムの城壁の見張り番となることです。わかりますか？これは誰もが明確にしておくべきことです。そうでなければ、私たちは気を抜いた瞬間に、義務を忘れたり、眠り始めたりする、もしくは、絶対に許されないことですが、置換神学（神の選びの民としてのユダヤ人の使命が終わり、新しいイスラエルが教会となった、とする説）など、とんでもない教えを受け入れ始めるのです。一旦そのようになると、まるで武器を手放した兵士のように、戦う権利を放棄し、戦う目的を失い、その場から立ち去ってしまいます。これは間違いです。戦場を放棄した兵士がどうなるかわかりますか？これは大変な事です。つまり、要点はこうです。現在起こっていることは恐らく、私たちがここを去るまでにあと数回起こるでしょう。これは祈りの力と、引き止める者としての、我々の熱心で効果的な祈りの実践です。どうか理解してほしいのです。これは信者としての義務です。先ほども言ったように、エルサレムの将来は明白です。今の時点では、確固としたイスラエルの首都であることに議論の余地はありません。しかしそれは、イスラエルが主権国家である限り、イスラエルが強力な軍隊を持ち、強力な政府を持っている限り、繁栄した国である限り、そうなのです。しかし、理解しなければならないのは、いったん反キリストが登場し、自分が神であると宣言すると、聖書は試練の時について事実を述べています。

主は、私たちを大試練の時**から**取り去り、救ってくださるのです。聖書の中に書かれていますので、見てみましょう。

10 あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。

（黙示録 3:10）

このように、大患難は7年間、そのうちの半分は試練の時で、反キリストが欺きます。そしてもう半分は、彼が恐ろしい戦争を起こします。それから当然、イスラエルに対して悪が施されます。それに対して、彼らが行った全ての悪に対して、神が世を裁かれるのです。ですから、神の御怒りが下るのは、後半の3年半に反キリストがイスラエル迫害を積極的に始めた時にです。ダニエルは、イスラエルがどのように捕えられるか記しています。イザヤは、彼らが荒野に連れていかれると書いています。これは1,260日で、つまり聖書的に言う3年半です。ということで、これが後半3年半です。そして、前半3年半が試練の時だと聖書は

語ります。そして、聖書には主が私たちを取り去ってくださると書いてあるので、我々はおもはやここにはいません。

10 わたしもなんじを試みの時から守ろう。

(黙示録 3:10 前田護郎訳 1978)

「試練の最中に」と言っているのではなく、ここで使われているギリシャ語は“ek” = 「その外に」という意味です。ですから、私たちはここから出るので。そして試練の時に来て、人々はしくじり、その結果を見ることになります。しかし、我々がここにいる間は、イスラエルが主権国家でなくなる限りは、私たちはとりなし、祈り、城壁の見張り番として、見張り続けなければなりません。そういうわけで、私たちが理解すべきことは非常に重要な事なのです。パリ会議は、「不法の秘密がすでに働いている」下で行われました。そしてその後起こったのは、聖徒たちの熱心で効果的な祈りの結果として、引き止める力が働いたのだと思います。私は、これら全ての事を目撃して、実にワクワクしています。これは第二テサロニケ 2章に書かれている通り、反キリストが登場する場面そのままです。そして、ご存じの通り、我々はその時ここを出ていきます。ですから、これら全ての事が、教会の携挙が近いことを証明していて、私はとてもワクワクしているのです。考えてみてください。現在、世界中で実にさまざまなことが起こっていて、そして実に多くの事が、携挙の後に起こるはずのことを証明しています。つまり、これらのこと全てが、我々の携挙がどれほど近いかを、ただ証明しているのです。これがテトス 3章にある「祝福された望み」です。これが、全て信じる者の祝福された望みです。我々は試練の時から取り去られ、神の御怒りから取り去られるのです。この素晴らしい点を人々は理解していませんが、聖書はヨハネの福音書に、イエスがこう言っています。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。(ヨハネ 14:3 前半)

ここで使われているギリシャ語は“paralempsomai” 両手を広げて立っている様子を表して、私たちが主に飛び込むのです。「わたしのもとに迎える」

「あなたを取り去る」のではなく、「あなたを迎える」と。それから主は、こう言われるのです。

3 わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:3 後半)

そして聖書には、その後私たちは永遠に主と共にいる、と書いてあります。

ここで、今年のテーマに戻りたいと思います。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

そこで、私たちがすべき、熱心で効果的な祈りの一つは、主が来られるようにと祈る事です。理解しなければならないのは、私たちが御霊を持つ花嫁として、言わなければならないのです。「来てください。」と。私たちは、主に「来てください。」と求めなければなりません。そのことに関して、聖書は実に明確に記しています。黙示録 22:20 に、こうあります。

20 これらのことをあかしする方がこう言われる。「しかり。わたしはすぐに来る。」

(黙示録 22:10 前半)

イエスが「わたしはすぐに来る」と言われたのです。しかし、聖書にはこうあります。

20 …アーメン。主イエスよ、来てください。

(黙示録 22:10 後半)

つまり、主は「わたしはすぐに来る」と言われ、私たちは「はい、主よ。来てください。」と言わなければならないのです。だから、我々は備えが出来ていなければなりません。しかし問題は、こんにちの教会には

- ① 備えが出来ていない。
- ② 「来てください。」と呼んでいない。備えが出来ていないからです。
- ③ イスラエルや、現在の状況について、すっかり眠ってしまっていて、熱心にも効果的にも祈りもしていない。

それを私は、Behold Israel のミニストリーを通して、変えたいと思っています。その目的のために、神は私の心に触れられ、声となるようにされたのだと思うのです。教会がその役割と義務を理解するために、時と季節について語り、いつ何が起こるのかを人々に理解させるのです。とても面白いことに、ミニストリーが驚くべき成長を遂げています。想像もしていなかった場所で、わたしのメッセージが聴かれているのです。パキスタンやアフガニスタン、イラン、シリア、レバノン、様々なところから E-mail が届きます。神の人々です。聖書にこう書かれています。

7 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。

(黙示録 2:7)

アメリカの耳のある者は聞きなさいとは言っておらず、世界中にいる神の息子・娘たち、内側に聖霊が宿る者は、直ちに耳が御霊の言うことを聞く態勢に入ります。それを見ながら、私はとてもワクワクします。

もう一度繰り返して言いますが、これで締めたいと思います。我々は前進しています。それから、不法の秘密はすでに働いていて、私のような人間の口を閉じようとしています。もしくはクリスチャンを眠らせ、祈らせないような働きも続きます。イスラエルに敵対する動き、エ

ルサレムを分断しようとする動き、イスラエルの法的権利を取り消そうとする動き、またイスラエルに戦争を仕掛けようとする動きも引き続きあるでしょう。しかし、我々がここにいて、盾を持ち、武器を持っているのです。中でも、最も効果的な武器は「祈り」です。皆さんに強くお願いします。自分の任務を忘れないでください。

前にも言いましたが、アプリをダウンロードしてください。Behold Israel 無料です。そうすれば、Facebook や YouTube がおかしくなっても、まだ皆さんと連絡が取れるからです。また、アプリを通して、毎日ニュースが更新されます。どうか皆さん、ダウンロードして、E-mail で繋がりましょう。ホームページ Behold Israel.org からメールアドレスをご登録ください。そうすれば、万が一ソーシャルメディアに何かが起こったとしても、E-mail や警報を通して、あなたの電話やメールに直接情報が届きます。

また、YouTube のチャンネル登録をよろしくお願いします。それから、もし、このスタジオの様子をご覧になりたければ、インスタグラムをご覧ください。フィリピンの島にいた時に、その様子を投稿しました。今、私はマニラにいますが、すっかり別世界です。スタジオの様子もまるっきり違います。ぜひインスタグラムの Behold Israel に行って、海やヤシの木の様子と、目の前に摩天楼が広がるマニラの様子、これらの違いをごらんください。皆さんにお見せできればいいのですが、声が入るようにするには、この向きでなければならぬのです。

皆さんのご支援とお祈りに感謝しています。また、皆さんが耳を傾け、我々の生きているこの時期と季節を理解してくださり、感謝しています。それから、いろいろな方から聞かれるのは、

「どのように備えたらいいですか？」

「花嫁の備えとは、どのようにすれば良いですか？」

とても簡単な事です。

「私の息子（娘）が、まだ用意できていません。」

「家族の半分が準備できてないのですが。」

「それなのに、『主よ、来てください』とは祈れません。」

あなたの家族が用意できていなくても、世界の動きが止まるわけではないのです。ですから、あなたのすべきことは、彼らの用意が整うように祈る事です。そのことを熱心に効果的に祈りましょう。そうすれば、主は聞いてくださいます。物事は動いていて、2017 年はものすごいことが起こると思っています。だから、いずれ彼らも耳を傾けるでしょう。そして、何が起きているのかと聞いてくるでしょう。彼らは人々が祈る姿を見なければならぬのです。人々が心配したり、落ち込んだりする姿ではありません。イエスは、明日のことは心

配するな、と言われました。ですから、私たちは今、周りの人たちに対して、力、安全、揺るぎないものを放出し、さらに喜び、勇気、慰めを放出しなければなりません。私たちが慰めを与える源です。とてもシンプルなことです。第二コリントには人を慰めることが書かれています。

- 3 私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめたたえられますように。
- 4 神は、どのような苦しみのおきにも、私たちに慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることが出来るのです。

(第二コリント 1:3~4)

ですから、私たちが他の人を慰める唯一の道は、イエス・キリストです。彼らにイエスを伝え、主を宣べ伝え、福音を宣べ伝えましょう。周りの人に、主が私たちの慰めだと伝えるのです。国連や、新しいアメリカの大統領や、新しい国連総長や、そういったもので慰めることはできません。あなたが誰かを慰められるのは、イエスを通してのみ。それだけです。

最後に、トランプ次期大統領が、金曜日に無事就任できるように祈りたいと思います。スムーズに良い形で政権の移行ができますように。簡単にはいかないでしょうし、1月20日の翌日になるまでは、いろいろと醜いことを目撃するでしょう。たくさんの反対勢力が動いていますからね。しかし、英国の大部分、バルカン諸国やその他多くも、今は我々の味方だと思います。それは、彼らが新しい大統領と一緒にやっていかななくてはならないということを理解しているからです。ですから、3日後に去る大統領の、崩壊した政策を受け入れても何の得にもならないと理解するだけの頭が、彼らにはあったのだと私は思っています。そういうわけで、トランプ効果はパリ会議にも影響し、EU 自体がパリ会議の決議を受け入れることが出来ませんでした。トランプ次期大統領が選ばれて以来、面白いことがたくさん起こっています。皆さんに投票に行くようにと急ぎ立てた時のことを思い出します。全てが不吉で、暗くて、誰もがもう既に決まっていて、ヒラリーが選ばれると思っていたのを思い出します。そして、思い出すのが、教会の帰りに、神が私に語られたことです。「インターネットで、人々に伝えなさい。『もし人々が祈り、彼らが求めるなら、あの私腹をこやし、神に逆らう悪の羊飼いを、わたしが取り除く』」だから私は、インターネットで人々に急いで祈るように伝え、トランプが勝った時も驚きませんでした。実際、私は投票日の夜、徹夜せずに寝ましたから。「目が覚めたら、トランプが新大統領になっている」と、私には自信がありました。神が聖徒達の祈りを聞いてくださったことを、本当にうれしく思います。また、前代未聞の数のクリスチャンたちが投票に駆け込んで、さらに当然祈りました。私たちはたくさんの成功を見ているのです。しかも、副大統領は熱心なクリスチャンです。若い女性の投稿を

見ました。

「マイク・ペンスと彼の奥さんがこの週末、私の教会に来ただけで、混乱もなく、エラそうにするわけでも、チャホヤされることもなく、有名人面するわけでもなく、ただ教会に入って、礼拝に参加して、家に帰って行った」

今、トランプの周りには、聖霊に満たされ、新生したクリスチャンの大きな存在があります。これまでのどの大統領にも見られなかったことです。私は、彼らもまた引き止める者の一部であると強く思っています。それがわかり、私はとても安心しています。ということで皆さん、引き続き祈りましょう。そして、城壁の見張り番として義務を果たしましょう。あなたも、不法の動きを引き止める力の一部であることを忘れないでください。一旦、我々がここを出ると、パーティーが始まります。しかし、その時まで、私たちは目的があって、この時期にここにいるのです。

アプリをダウンロードして、ニュースレターを登録、Facebook や Instagram をフォローしてください。

マニラより、I love you!

どうか私のためにもお祈りください。今週は夜を通して、政府高官や前副大統領、影響力のある人々との難しい会議が控えていて、週末にはマニラ最大の教会で 4 万人を前に話をします。そこで福音について、希望と、それから来る携挙、祝福された望みについて語ります。Thank you! God bless you! Shalom from Manila, Philippine!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO